



テクノロジーと法の未来へ

vol.03

i-TL 国際交流サークル創設

国際情報学部に入學して一年半が経過しています。まずは私のこの一年半の、学部での課外体験を記します。

私たちは、まだ何もない「未知数」である新設学部の1期生としての期待があるなかで、大学生活を送っています。何事も新しく始める、新しいことを学ぶことができる環境にいます。私は2019年から「i-TL 国際交流サークル」に所属しています。まだ国際情報学部にサークルがないなか、私たちは一からサークルを設立しました。私たちの掲げる目標は、「英語力」「教養力」「プレゼンテーション力」です。サークルの活動は新しい設備が揃っている市ヶ谷田町キャンパスで行っています。i-TLでは「BYOD-Bring Your



Brown Bag Lunch Meeting の様子

Own Device) (学生自身が端末を所持して、学生生活で利用すること) という方針のもとに授業が行われているため、キャンパス内のプロジェクトなどの機材を比較的自由に利用することができます。それにより、私たちはスクリーンを使ったTEDの鑑賞、ディスカッション、プレゼンテーションなどの活動を、効率的かつ円滑に進めることができます。

つながりのあるサークル活動



さまざまな活動で「つながり」を広げる筆者

私がこの一年半で一番深く感じたことは、「人とのつながり」です。サークル活動は新しいことを継続することもありますが、何かと難しいこともあり、しかし、サークルの活動を通して、ともに運営や企画をする仲間ができ、先生方や

事務室の方との関わりをもつことができました。学生だけで行う恒常的な活動に加え、2019年度は先生や事務室とも協働して、「Brown Bag Lunch Meeting」という、若手のビジネスパーソンをお招きしてお昼ごはんを食べながら英語による講義と議論を行うイベントの運営にも携わることができました。社会人の方に直接お話を聞く機会となり、大学生活についてのアドバイスもいただくことで、自分の学びたいことの探究などの進路選択につながり

アクティブに活動を続けた1年半

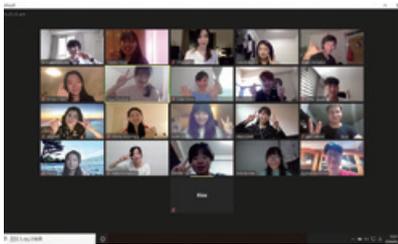
小崎 愛華

国際情報学部国際情報学科2年
私立東京女子学園高校(東京都)出身

ました。Brown Bag Lunch Meetingにご登壇いただいた社会人の方々のアクティブな学生時代の話を聞いて、私も自分の輪を広げるためにアクティブな活動をしていこうと決心し、「一般社団法人日米協会」でのインタビューに至りました。

Zoom上でのサークル活動

2020年度の前期は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業を受けることになりました。対面での活動ができないなか、私たちは学部の特性を活かし、Zoomというビデオ会議アプリケーションを使用して4月からサークル活動を行ってきました。最初は操作や円滑な活用方法に戸惑うこともありましたが、今ではメンバーは画面の共有、ブレイクアウト



マギル大学との交流

ルーム（少人数に分けること）など、コンテンツの利点を活かせるようになりました。これを受け、サークルのメンバーと1期生の有志で、新入生との交流を図るために「ITL Online Social Gathering for New Students」と題したITL新入生オンライン交流会を5月から6月にかけて計5回開催しました。新入生同士の友だちづくり、課題や学部情報の共有、1期生への質問など、オンライン上で交流する場を設けました。参加してくれた新入生も最初は慣れないこともあったと思いますが、回数を重ねるごとに打ち解け、新しく知り合いが増える機会になったのではないかと思います。

また、サークル本来の活動では、オンライン上で海外大学の学生と交流する機会を設けることができました。カナダのマギル大学、アメリカのミシガン州立大学で日本語を学んでいる学生とオンラインでつながり、交流会を複数回開催しました。私たちはそれぞれの学習言語を学び合うと同時に、互いの文化や大

学生生活などについて幅広く意見交換を行い、双方向でメリットのある交流になるよう努めました。また、今までのオンライン活動で培ったZoomの操作経験を活かし、プレゼンテーションやテームトークなども行いました。それに加えて普段の活動では使用していなかったGoogleドキュメントやスライドなどのサービス、Kahoot!というクイズアプリケーションなどを活用することで、対面型の交流に匹敵する、

もしくはそれを超える交流をオンライン上で実現することができました。

今後の活動

これらの活動は、普段ではつながりを持つことが難しい人々と交流する機会となり、通常では使うことがなかったアプリケーションやプラットフォームを使用する経験となりました。オンラインだからこそ、自分の視野も、人との輪も広がったと思います。この1

年半を通して、オンラインからオフラインまでたくさんの方と関わることでできました。今後、大学への入構が許可されてからも、オンラインでの活動を継続していく予定です。前期はオンラインでの対面となりましたが、新入生の皆さんと直接お会いできることも楽しみにしています。「人とのつながり」を大切にし、これからも大学生活をアクティブに過ごしていきたいと思っています。